

茨城県高萩市

最先端設備の積極的な導入で差別化 社内研究会で社員のチャレンジ精神を醸成

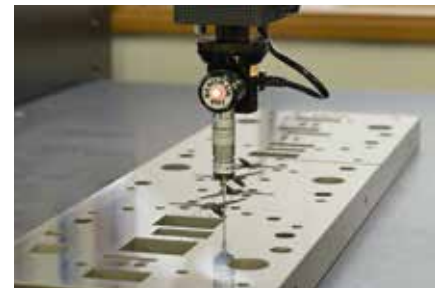
同社は、1998年設立の精密金型部品の製造加工事業者で、超精密順送プレス金型プレートの製作を得意とする。「超高精度」と「高耐久性」を追求し続け、プレス金型の企画、設計、試作、量産まで一貫した生産体制を構築し、多様化する顧客のニーズに応え続けている。ISO9001、ISO14001 認証を取得する等、高い技術力で高品質な製品を提供しながら、安全な管理体制と環境面に配慮した取組を実施している。

●所在地	茨城県高萩市上手綱3641-48	●設立	1998年
●電話/FAX	0293-23-8255/0293-23-8256	●資本金	2,700万円
●URL	https://mdprecision.jp	●従業員数	53人
●代表者	代表取締役社長 立原 賢治		



設備導入で高品質製品の短納期化実現

職人の手作業で行っていた金型プレートの形状部に対する磨き作業に研磨装置を導入。従来の1/6の時間で研磨することが可能となり短納期化を実現した。また、同社は自社の業態に合わせた生産管理システムを構築。様々な情報を一元管理することで、管理事務作業を月間30時間削減した。システムの導入は、見積精度が向上する等の恩恵もあり、結果として受注率が約10%UPした。同社では高い技術とノウハウ、そしてそれらを活かせる設備を持ち、高品質・適正価格・短納期を実現できる体制が構築されている。



高精度金型プレートはピッチ精度±2μm

先端設備の積極的な導入により顧客ニーズに対応

金型プレートの加工工程のなかで、熱処理とワイヤ放電加工は、プレートの精度や耐久性といった品質を左右する、重要でかつ時間のかかる工程である。同社では、プレートの硬度を制御し経時変化による寸法変位を抑えて熱処理可能な設備を導入。変位を極小化する技術確立して、完全内製化を実現した。また、最先端のワイヤ放電加工機を導入し、超高精度加工により、金型の高寿命・高精度化、さらには短納期化を実現した。これら先端設備の積極的な導入により、顧客評価が上昇、他社との差別化に繋がっている。



高精度加工が可能なワイヤ放電加工機

社内コミュニケーションの活性化によりチャレンジ精神を醸成

同社が、顧客の様々な要請に応えるためには、経験豊富かつ高い技術力を持った技術者の存在が不可欠である。そのため、同社では社内研究会や技術講習会を定期的に行い、従業員同士が切磋琢磨できる環境を作っている。経営理念に「社員の幸せを通して社会に貢献する」ことを掲げ、若い技術者の意見も積極採用することで、より高い品質へのチャレンジや創意工夫がなされる、風通しの良い社風を醸成している。これらの取組は、社員の働きがいを高め、ベテラン社員と若い社員の交流機会の創出にも繋がっている。



丁寧に技術を伝承する様子